

- 1 審議会名 上田市博物館協議会
- 2 日 時 平成28年3月18日 午後1時30分から3時30分まで
- 3 会 場 上田市立信濃国分寺資料館 講堂
- 4 出席者 小宮山千佐委員、神戸弘子委員、児玉卓文委員、若林恭英委員、堀内泰委員、
宮澤かほる委員、倉嵜勝夫委員、手塚若子委員
- 5 市側出席者 倉澤博物館長、山寄補佐、尾見資料館長、中村総務課長、宮島文書法規係長
- 6 公開・非公開等の別 公開・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成28年3月20日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (山寄補佐)
- 2 あいさつ (倉澤博物館長)
- 3 公文書館整備基本計画に関する提言書について (中村総務課長)
提言書の内容を報告
(委員) 現在は、県内に公文書館はどのくらいあるのか。
(事務局) 県立歴史館に1つのほかに、長野市・松本市。小布施市にある。
- 4 協議事項
- (1) 議題の概要
H27年度の事業報告
H28年度の事業計画
- (2) 審議概要
H27年度の事業報告
(事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、信濃国分寺資料館の順で説明。
- (委員) ・大河ドラマの影響は？
(事務局) ・冬期間について、26年度は2月は883人だったが、今年度の2月は8,220人になった。今年度は櫓も開放しているので、簡単には比較できないが、相乗効果が多い。
(委員) ・市立博物館は休館日なしでやっているのか。
・休館日なしで開館していただいております、ありがとうございます。
(事務局) ・無休で開館している。また、休憩スペースを使ってミュージアムショップを充実させていきたい。
(委員) ・昨年の入館者数は、市立博物館6万人ぐらい。国分寺資料館は1万人を切っている。丸子郷土博物館も減少している。少ない人数で大変だが、お互いの連携を高め、集客方法について費用をかけない方法を検討してほしい。
・市立博物館別館2階の展示が良い。
・市立博物館別館1階の休憩室をもう少し宣伝しても良いのではないかと。
・トイレも非常に良くなった。
(事務局) ・追加での報告になるが、3月1日より料金の改定があった。これは、他市の状況も踏まえて考えたものである。
(委員) ・少し高いように思う。また、小中学生は無料にならないか。
(事務局) ・現在、市内の小中学生は無料としています。
(委員) ・国分寺資料館は入館者が減少しているが、交通の便(バス)が良くない。交通の便は、集客にとっては重要な要素である。

(事務局) ・27年度の入館者を分析すると、団体客は200名近く増加している。そのため、収入は26年度より増加している。しかし、無料入館者が減少している。今後、減少の原因を究明していきたい。

H28年度の事業計画

(事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、信濃国分寺資料館の順で説明。

(事務局) ・本年度には実施しなかった講座は、平成29年1月から復活させたい。

(委員) ・市立博物館の講座は、どこで行うのか。

(事務局) ・市立博物館別館1階を考えている。定員は40名と考えている。

(委員) ・今までの応募状況から考えると、40名では少ない。もっと大勢の方が受講できることを考えてもらいたい。

・博物館としての本来の仕事を大切に考えないといけない。今は、真田丸ではないが。

・講座は教育会館の2階はどうか？

・建て直しが始まり、難しい。

・今まで、大勢の方が参加できた講座が小人数になってしまうのはどうか。休憩室は、上田城跡公園に来園した方々が「いつでも入れる」という体制をとったほうが良いのではないかと。苦情が来るのではないかと。

・受講者の駐車場の問題もある。

(事務局) ・市立博物館本館は建設から50年が経っている。建て直しの必要が生じている。この新築の中で、講義室などのスペースを考える必要があるが、当面の講座開講の問題として講座を実施する場所の問題があることは承知している。

・今後、承った諸々の御意見を参考にして検討してみたい。

(委員) ・真田丸に合わせて、この機会にあまり知られていない古文書などを借りて公開することはできないだろうか。

(事務局) ・検討していきたい。

5 閉 会 (倉澤博物館長)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。